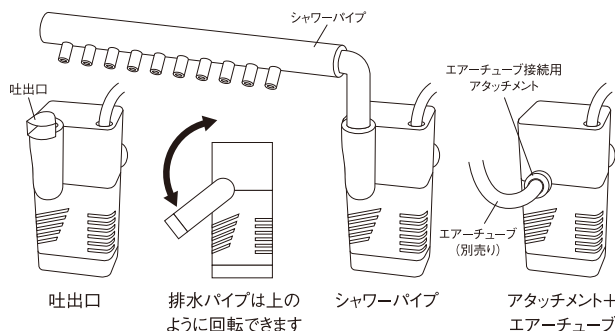
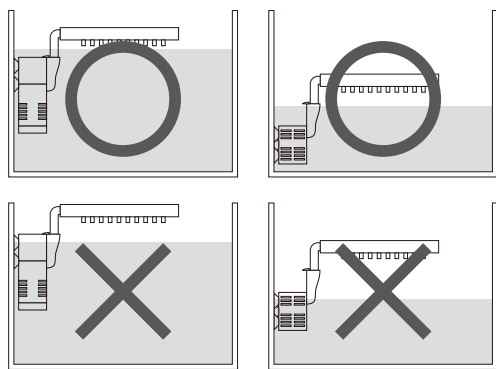


設置方法

- 1 図のように排水パイプに吐出口がシャワーパイプ、またはエアチューブ接続用アタッチメントで、エアチューブ(別売り)を取り付けてください。



- 2 裏面のキスゴムで、水槽内に必ず本体が完全に水に浸かるように固定してから、電源を入れてください。(水中モーター部が水面から2cm以上下がる場所にセット)

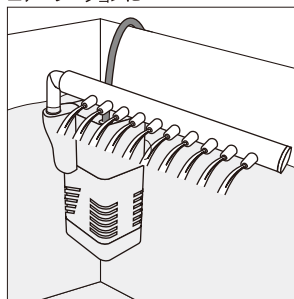
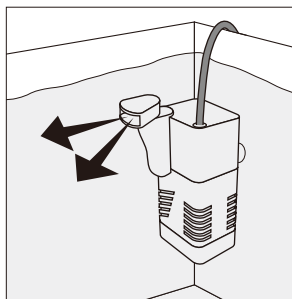


5

セット例

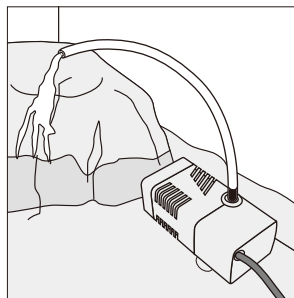
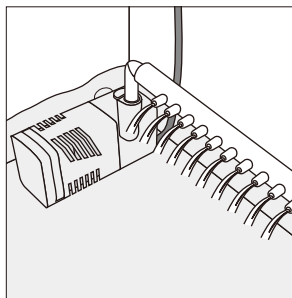
縦置きで小型水槽の水中フィルターに

シャワーパイプを水面から出してエアレーションに



横置きで浅い水槽に

エアチューブと接続してテラリウムに

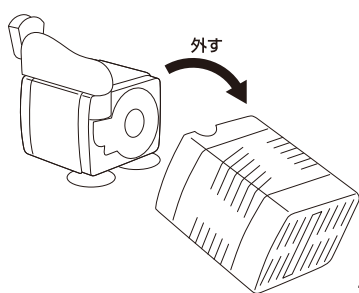


モーター背面部のキスゴムで、水槽内のガラス面にしっかりと固定してください。
※水槽や飼育魚に対して流量が強すぎる場合は、シャワーパイプを取り付け、排水の方向をガラス面に当てるなどして弱めてください。
※モーターとガラス面の間に入り込んでしまう可能性のある、小さな魚の飼育はお控えください。

6

専用材の交換

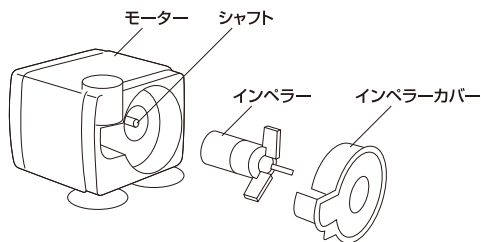
電源プラグをコンセントから抜き、水中から本体を取り出してから、下図のようにカートリッジを外して、別売りの交換カートリッジと交換してください。
カートリッジは2~3週間に1回を目安に交換してください。
※水中から本体を取り出す際は、本体から水が出ますのでご注意ください。



別売り 交換カートリッジ 78921
テトラ マイクロカートリッジ 2個入

モーター部のそうじ

カートリッジを外し、下図のように分解してインペラーやインペラーカバー、モーター内部の通路やシャフトを細いブラシや流水などで洗います。
インペラーやモーター内部にゴミが詰まったり水アカが付着すると、流量の低下や停止の原因となりますので、2カ月に1回の割合で定期的な洗浄を行ってください。



7

故障・異常の見分け方と処置方法

注意 ⚠ 細かい砂などの異物を吸い込むと止まります。下記を参考に処置してください。

現象	原因・チェック	処置方法
水が流れない (モーターが動かない)	電源は入っていますか?	コンセントにしっかりプラグを差し込んでください。
流量が弱まる	ろ材が目詰まりしている。 インペラー部やモーター内部にゴミや水アカが付着している。または細かい砂やろ材など異物を巻き込んでいる。 本体が水面から出ている。	新しい材に交換します。 インペラー部やモーター内部にゴミや水アカが付着している。または細かい砂やろ材など異物を巻き込んでいる。 本体は必ず水中に設置してください。
モーターが止まる	インペラー/マグネットや軸に糸や毛などが巻きついている。 インペラー/マグネットが軸を中心にスムーズに回転しない。 本体吸水部にゴミが付着していませんか?	糸や毛などを取り除いてください。 インペラー/マグネットの間にカルシウム等のミネラル分が付着しているのを取り除く。(食用酢の中に数時間漬してから強い水流中でよく洗う。) 本体吸水部からゴミを取り除いてください。
異常音が発生する	インペラー部が破損していないかチェックします。 モーター部が空気を吸み込んでいる。	破損している場合使用を中止し、新しいものをお買い求めください。 本体は必ず水中に設置してください。

●上記該当しない場合は、お買い上げ店もしくは弊社テラ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

⚠ 注意

- 魚病薬を使用する際は、カートリッジ内の活性炭が薬効成分を吸着してしまいますのでご注意ください。
- キスゴムは取り外しできません。キスゴムの吸着面はなるべく触らないでください。脂分が付着するとキスゴムの吸着力は弱まります。
- シャワーパイプを取り付けて使用する場合、始動直後にシャワーパイプ内に空気が残って水が均等に出ない場合がありますが、その際は電源プラグを抜き差しするか、シャワーパイプを水中に沈めて吐出口を上に向けて空気を抜いてください。

8